

# 施策評価(令和元年度)

## 1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	20	農業
基本方針		
農産物の市内販路の拡充や多面的な役割を担っている都市農地の保全に努め、地域とともに歩む都市農業の振興を図ります。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">認定農業者制度の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農地の多面的機能の活用</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">生産緑地の保全</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農商観連携施設の整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農商観連携事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策20「農業」では、5事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「農産物の市内販路の拡充や多面的な役割を持つ都市農地の保全に努め、地域とともに歩む都市農業の振興を図る」ことであり、「認定農業者制度の推進」では、認定農業者制度の周知に努め、都市農地の保全につながるよう取り組んだほか、制度の周知を行ったが申請者がなかったことから、より一層の啓発に努めていくものとしており、「農地の多面的機能の活用」では、都市農地の保全・維持に努めるとともに、農地が持つ多面的機能について、有効活用の検討や災害時における防災協定の見直しについて各関係部署と協議・検討を進めるなど、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
---

1.基本項目	作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 認定農業者制度の推進	年	継続	自治事務	直営	
01	年				
02	年				
03	年				
04	年				
05	年				
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	20	農業	管理No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	農産物の市内販路の拡充や多面的な役割を担っている都市農地の保全を進め、地域とともに歩む都市農業の振興を図ります。
事業内容	農業者の意欲と能力を喚起していくことで、認定農業者の普及と農業経営改善計画の実現に向けた支援に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	認定農業者として認定・支援	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左 ・農業経営の効率化・合理化・多角化の支援	同左
	認定農業者の認定合計 10人	同左 11人	同左 12人	同左 13人

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	160H	1人	160H	1人	160H	1人	240H
主事・主任職	1人	160H	1人	160H	1人	160H	1人	240H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	13,941	0	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	13,941	0		
国庫支出金				
都支出金	10,260			
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	3,681			
財源内訳(合計)	13,941	0		

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

各会議で農業者へ認定農業者制度に関する説明を実施したうえで、認定農業者の募集期間を設けて募集を行うなど、認定農業者の普及に向けた取り組みを進めた。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	160 H	1人	160 H
主事・主任職	1人	160 H	1人	160 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○認定農業者の認定・支援 ○認定農業者の認定合計 11人		○認定農業者の認定・支援 申請なし ○認定農業者の認定合計 10人

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市内農業者に対し、認定農業者制度の周知に努め、都市農地の保全につながるよう取り組んだ。認定農業者への応募には至らなかったが、引き続き、都市農業の保全と振興を図るための取り組みを行う。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

市内農業者に対し、認定農業者が受けられる支援事業の利点等について、引き続き東京都と連携して周知を図り、認定農業者の普及啓発に努める。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法 プロジェクト
00 農地の多面的機能の活用		年	その他	自治事務(市独自)	その他
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課	危機管理課				
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	20	農業	管理No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	農産物の市内販路の拡充や多面的な役割を担っている都市農地の保全を進め、地域とともに歩む都市農業の振興を図ります。
事業内容	農業団体協議会と締結している災害時における防災協定の継続、多面的機能支払交付金事業の実施などにより、多面的な機能を有する農地の活用を図っていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	災害時における防災協定の課題を把握・検討	災害時における防災協定の見直し	同左	同左
	多面的機能支払交付金事業(水土里保全活動支援事業費補助金)の実施 1団体	都市農地保全プロジェクト事業の検討・計画 ※事業を検討する中で事業費を算出 同左 1団体	都市農地保全プロジェクト事業の実施 同左 1団体	同左 1団体

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	240 H	1人	240 H	人	240 H	人	240 H
主事・主任職	人	240 H	1人	240 H	人	240 H	人	240 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	994	994	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	994	994		
国庫支出金				
都支出金	546	546		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	448	448		
財源内訳(合計)	994	994		

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 18 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

災害時における協定の見直しに向けて、羽村市農業団体協議会と防災安全課で協議を実施したほか、羽村市農業団体協議会が羽村市総合防災訓練に参加した。  
また、令和2年度都市農地保全支援プロジェクト要望調査を実施し、事業の検討を行った。  
多面的機能支払い交付金事業(水土里保全活動支援事業費補助金)については、支援事業として羽用水路の保全・維持を年間を通して実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	994	-	994	994	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時における防災協定の見直し</li> <li>○都市農地保全プロジェクト事業の検討・計画</li> <li>○多面的機能支払交付金事業(水土里保全活動支援事業費補助金)の実施 1団体</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時における防災協定の見直しについて協議</li> <li>○都市農地保全プロジェクト事業の検討</li> <li>○多面的機能支払交付金事業(水土里保全活動支援事業費補助金)の実施</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

都市農地の保全・維持に努めるとともに、農地が持つ多面的機能を有効に活用できるよう、各関係部署と協議・検討を行った。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

都市農地の保全に向けて積極的に推進するため、農地の多面的機能を活用し、施設整備や農地保全に取り組む。

1.基本項目	作成部署	都市建設部				都市計画課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 生産緑地の保全	平成 4 年	継続	自治事務	直営		
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	20	農業	管理No.	6

2.事業の概要

施策の 基本方針	既存の自然環境を保全するとともに、敷地内緑化の促進や生産緑地の追加指定、保全により、自然環境と都市環境が調和したうおいのあるまちなみにお形成を図ります。
事業 内容	農地減少への歯止めをかけるため、生産緑地の追加指定を継続するなど、農地の保全を図ります。
根拠法令	生産緑地法
条例	羽村市生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例
要綱等	羽村市生産緑地地区指定基準

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	生産緑地追加指定の受付	同左	同左	同左
	適正管理の調査年2回	同左	同左	同左
	下限面積の引き下げ条例 制定	特定生産緑地制度への対応、移行準備	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80H	1人	60H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	1人	60H	1人	40H	1人	80H	1人	80H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	385	289	481	481
人件費(主任・主事職)	190	127	253	253
総事業費(合計)	575	416	734	734
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	575	416	734	734
財源内訳(合計)	575	416	734	734

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

生産緑地追加指定の受付及び指定に係る縦覧、都市計画審議会への付議、都市計画指定の告示を行った。  
 生産緑地の管理状況については、農業委員会と合同で農地の現地調査を実施し、生産緑地の適正な管理について指導等を行った。  
 また、令和4年度から特定生産緑地の指定が始まることに伴い、特定生産緑地制度に関する説明会を開催した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
年間業務時間(人件費の目安)				
係長職	1人	60H	1人	60H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○生産緑地追加指定 1回 ○適正管理の調査 年2回 ○特定生産緑地制度への対応・移行準備	⇒	○生産緑地追加指定 1回 ○適正管理の調査 3回 ○特定生産緑地制度への対応・移行準備

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

生産緑地の追加指定について4件の申請があり、新たに約3,340㎡を追加指定し、農地の保全に努めた。また、生産緑地の適正管理現地調査を実施することで、管理不足の生産緑地の改善を図ることができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も生産緑地の追加指定を行うとともに、生産緑地が適正に管理されるよう現地調査を継続していく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業企画課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	農商観連携施設の整備 ※施策19に事業内容を掲載(施策21と重複)		継続	自治事務(市独自)	その他	○
01						
02						
03						
04						
05						
関連課	産業振興課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	20	農業	管理No.	7

2.事業の概要

施策の基本方針	農産物の市内販路の拡充や多面的な役割を担っている都市農地の保全を進め、地域とともに歩む都市農業の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光資源の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	産業関連の公共施設全体の構想の検討	農商観連携施設の具体的な整備計画の検討	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	人	50H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	241	241	241	
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	241	241	241	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	241	241	241	
財源内訳(合計)	241	241	241	

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、  円

イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円

ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円

※ 対象者:



**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

昨年度実施したサウンディング調査をもとに、産業関連施設の全体構想及び羽村堰周辺に人が集うための拠点整備構想の中で検討した。  
羽中4丁目整備用地は、観光駐車場やイベント会場として暫定的な活用を図った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	人	H	1人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観連携施設の具体的な整備計画の検討		○農商観連携施設の具体的な整備計画の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

産業関連施設の全体構想、羽村堰周辺の一体的な構想とともに、都市農業の振興が図れるよう、引き続き検討を進める。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

産業関連施設全体の構想を検討する中で、農商観連携施設について検討する。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 農商観連携事業の推進 ※施策19に事業内容を掲載(施策21と重複)		年		その他		自治事務(市独自) 業務委託(一部) ○	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課		産業企画課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		20 農業		管理No. 8	

2.事業の概要

施策の基本方針	農産物の市内販路の拡充や多面的な役割を担っている都市農地の保全を進め、地域とともに歩む都市農業の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつりなどのイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売の取組みを推進します。また、市内商店・飲食店での市内産の農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	農商観とのマッチングのコーディネート 4件	同左 5件	同左 6件	同左 7件
	産業祭やはむらイルミネーションでの激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	241	241	241	241
人件費(主任・主事職)	158	158	158	158
総事業費(合計)	399	399	399	399
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	399	399	399	399
財源内訳(合計)	399	399	399	399

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

第5回はむらイルミネーションの「激辛フェス」(21店舗 開催期間10月2日～10月31日)において、羽村産の唐辛子を使用したメニューを提供する連携事業を実施した。また、羽村市商業協同組合による「15日市」の開催(8/15を除く5回)を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート 5件 ○激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェ等の開催 2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	⇒	○農商観とのマッチングのコーディネート 3件 ○激辛メニューの特別企画の開催 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 5回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

農業、商業、観光それぞれの分野における振興につながり、産業全体を活性化できる事業となっている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

商工会の主催事業である「激辛フェス」の定着に向け、生産農家との連携充実を図るほか、市外からの来訪者の増加にもつながるよう、観光協会施策を協議する。